



Smile Woman! インタビュー(37)
この人の仕事のカタチ
どこか輝いてみえる「仕事」をしているあの人にズームアップ。

子供たちと一緒に 学び成長していきたい

児童養護施設「新天地育児院」(岡山市中区門田本町)は東山の小高い山頂にある。「新天地育児院」は、もともと戦後の混乱期に親のない子を育てるために、池田愛氏の教えのもとに設立された。市内から近いが、緑と自然に囲まれた閑静な場所。ここで、米田亜希子さんは2歳から18歳の子供たち43人と共に生活している。住み込みのため、一緒に勉強したり、一緒に遊んだり、一日中子供たちと接している毎日。「もともと子供たちが好きで、この仕事を選びました」と明るく語る米田さん。

仕事というよりは自分の生活の一部

学生時代に児童養護施設に行つて、初めてこんな施設があることを知り、そこで「親と一緒に暮らすことができない子供たちの、明るく元氣な姿に心を打たれ、この仕事に就こうと決心しました」。やさしく、前向きな米田さんらしいエピソードだ。子供たちと毎日接していて、自分の思いがなかなか伝わらなくて歯がゆいこともあります。子供と一緒に喜んだり、成長していくのが見えることが、とても楽しく、自分自身の励みともなっているとのこと。「子供のサッカーの試合を応援にいった、活躍してくれたら自分のことのようにうれしくなります」。米田さんは、学生時代はテニス、今はマラソンとスポーツも大好きで、大会にも出場す

児童養護施設
新天地育児院 主任

米田 亜希子さん

るほど。体を動かすのが好きということ、目標を持って取り組めることが、マラソンの魅力のようだ。子供たちも米田さんと一緒に走ることを楽しんでる。一緒に走って、一緒に頑張ることが米田さんの教育方針なのでしょう。「ここに来て、他の仕事では経験できないことをたくさん経験でき、充実した毎日です。ただ、仕事をしているという感じではなく、自分の生活の一部になっています」。この仕事をできるだけ長く続けるのが夢だという。



子供たちへのメッセージ

気がつけばもう8年目。「最初は目の前のことで精一杯だったのですが、やつと自分にも余裕ができ、子供たちと一緒に何か活動しようという自覚が生まれてきました。これからの目標は、「お姉ちゃん」と呼ばれ、慕われている。これからも、やさしさと明るさで、子供たちの良き理解者となることでしょう。「子供たちには強い心をもって、生きていってほしい」——先生から子供たちへのメッセージです。